

## 事業のお知らせ

■ 防災オンライン連続学習会 第2回 **Zoom**  **YouTube**  
「アウトドア防災から学ぼう！  
環境にも多様な人にも優しい社会づくり  
～自助と共助のグラデーション～」



日 時：7/17(土) 10:30～12:00  
対象・定員：テーマに関心のある方・30人・先着順  
参加費：無料  
申し込み：ホームページの申込みフォームにて受付中！

■ おうち性教育はじめませんか？ **YouTube**  
～生と性の伝え方の第一歩～



「おうち性教育はじめます」著者のおひとり、  
村瀬幸浩さんから家庭での性教育の必要性と実践を  
学びます。

視聴期間：7/29(木) 10:00～ 8/6(金) 15:00 まで  
対象・定員：テーマに関心のある方・50人・先着順  
参加費：無料  
申し込み：ホームページの申込みフォームにて受付中！

■ 男性のための交流分析講座  
「フレキシブルな自分になるために」

よりよい関係性をつくる対処法を学び、もっと柔軟に生きるために  
はどうしたらよいかを考えます。

日 時：8/20・27・9/3 全3回 毎週金曜 18:30～20:30  
会 場：女性センター 生活アトリエ  
対象・定員：テーマに関心のある男性・10人・先着順  
参加費：無料  
申し込み：7/20(火) 12:00～  
電話 019-604-3303 または  
ホームページの申込みフォームにて受付



■ 女性起業芽でる塾 全3回連続講座

第1回ホップ編：7/31(土)13:30～15:30 ※前半：公開講座  
前半：女性起業家事例発表 後半：ワークショップ  
第2回ステップ編：9/4(土)10:00～15:00  
第3回ジャンプ編：9/18(土)10:00～15:00

起業の基礎知識やノウハウを学びます。  
先輩女性起業家の事例発表や講義・ワーク、そして同じ思いを持つ女性  
同士の交流を通して、起業への夢を膨らませてみませんか。

場 所：プラザおでって 大会議室(ホップ編)  
対 象：起業したい女性・起業に興味がある女性  
定 員：連続講座10人/ホップ編公開講座のみの参加10人・先着順  
参加費：1,000円(公開講座のみの参加は無料)  
託 児：有料(6か月～未就学児  
子ども1人につき、ホップ編500円、  
ステップ編・ジャンプ編各回800円)  
要事前申込・先着順3人まで  
申し込み：電話 019-604-3303 または  
ホームページの申込みフォームにて受付中



詳しくはホームページまたは女性センター内に置いてあるチラシをご覧ください。

## もりおか女性センター

(管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて)

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5階  
電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4031  
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝17:00まで)  
休 館 日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット  
〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって1階  
電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4032  
開館時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
休 館 日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



(バス)  
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車  
徒歩3分

※女性センターには、専用の駐車場はありません。  
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

## 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。  
また、メール相談も受け付けます。E-mail: [soudan@sankaku-npo.jp](mailto:soudan@sankaku-npo.jp)
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。

	相談開設時間	
月	10:00	～ 17:00
火	10:00	～ 17:00
水	10:00	～ 20:00
木	10:00	～ 20:00
金	10:00	～ 17:00



ひと ひと  
一 女と男、ともに参画する社会をめざして一

## もりおか女性センター

もりおか女性センターは、  
女性の自立と社会参画を支援するとともに  
男女共同参画を推進する拠点です。

ニュースレター

2021年7月

No. 91

## 学ぶ

学習・研修の機会の場合

## 出会う・力をつける

活動促進・交流の場合

## 悩み・考える

女性相談

## 考え究める

調査・研究事業

## 知る

情報提供・収集場所

発行：もりおか女性センター

## 男女共同参画週間もりおか展 2021 終了報告

国で定めている男女共同参画週間に合わせ、もりおか女性センターでは、6月23日(水)～29日(火)の1週間「男女共同参画週間 もりおか展 2021」を開催しました。

26日(土)は、オンライン講演会&パネルディスカッションを開催。その他、パネル展示やビデオ上映等で男女共同参画社会について啓発活動を行いました。



### オンライン講演会&パネルディスカッション

今年度は、若い世代が考える男女共同参画をテーマに、講演会とパネルディスカッションを行いました。若い世代がどのようなことを考え、感じているか、様々な世代の参加者と一緒に考える機会としました。

#### ■講演会

演題:「男女共同参画」ってなんですか?

講師:櫻井 彩乃さん(＃男女共同参画ってなんですか 代表)

櫻井さんご自身の経験や、若者のジェンダー意識、ジェンダー平等を加速させて行くには何をしていけばよいかというお話を中心に伺いました。講演の一部をご紹介します。

#### なぜジェンダー平等に関心を持ったか?

高校生の時に同級生の男子に言われた「おまえは女なんだから、黙ってかわいくしとけばいいんだよ」という一言がきっかけ。

それまで幸いなことに「女の子だからこうしなさい」と言われることがなく、差別を感じる事が無かったため衝撃を受け、とても悔しい思いをした。

そのことが、私とジェンダー平等との出会いになり、ジェンダーの課題についていろいろ調べるようになった。その時期に、国際ガールズデーのイベントでジェンダーの専門家の大崎麻子さんと出会い、自分の気持ちを伝えることが出来た。大崎さんとの出会いが大きな力となり、その後のジェンダー平等に関する学びにつながった。

学びに加えて、学生時代に国際NGOでインターンやアルバイトをしていた中で、自分と同世代の女の子たちの思いや現状を知り、「性別によって人生が左右されているのではないか?」と思った。性別によって生きたい未来を生きられないのではなく、「自分の未来は自分で決める」と日本の、特に若い女性が言えるように後押しできないかと思い「Torch for Girls」という団体を立ち上げた。

また、仙台で行われた国連防災会議に参加し、その時初めて災害時にもジェンダーに基づく様々な問題があったことを知り、衝撃を受けた。



講師の櫻井 彩乃さん

#### 若者の声を政治に届ける!

私も若い世代の政治参画を増やそうという活動をしている一人。

昨年7月には国際NGOジョイセフより、「若年女性の政治参画のプロジェクトをやろうよ」と声が掛かった。何から始めたら良いかと考えていた時、8月に内閣府の男女共同参画局が実施する、第5次男女共同参画基本計画のパブリックコメント(以下パブコメ)があるから、そこで何かやったら良いのではないかとされた。

若い世代は声を届けるということをやって来なかった人が多い。一方で、SNSやTwitterなどではこんな政策は嫌だとかおかしいと自身のもやもやをたくさんつぶやいている。その声をパブコメに反映したら良いと考え、「＃男女共同参画ってなんですか?」というプロジェクトを立ち上げた。

#### 「パブコメ送ろう」と言われても、そもそもパブコメってなに?

SNSを使って、なるべく当事者意識を持てる、共感できる内容で若い世代が関心あると思われることをかみ砕いて発信した。結果、約1カ月で30歳以下からの声が1,050件も集まり、橋本聖子前大臣に30歳以下の想いとユース提言を渡した。これらは専門調査会の資料にもなり、専門家でもないユースからの提言が資料になることは、画期的なことではないかと思う。

その後、「＃いつになったら選べますか?」と題し、選択的夫婦別姓に関する署名を集めたところ約3万人の賛同を得られ、橋本前大臣に手渡した。

私たちとは比べものにならないくらいの不平等を経験してきた先輩方との出会いが私を変えた。皆さんがいたから今の自分たちがいるという思いから、2017年に世代を超えたアクションを目的として10代から80代の幅広い世代で構成された団体「COULEURIRE」(クルリール)を発足。

#### 「何かしたい!」と思った方へ

- ①周囲の人と話してみよう
- ②仲間をみつけよう
- ③国や地域・組織の方針を知ろう
- ④声を届けよう
- ⑤男女共同参画センターや女性センターを頼ろう

最後に櫻井さんは、「男女共同参画は、一人ひとりが自分らしく生きていくためのもの。あらゆる世代でジェンダー平等を目指そう」と結ばれました。

#### ■パネルディスカッション

「＃岩手の学生と考える 男女共同参画のこれから」と題し、盛岡大学・岩手大学・岩手県立大学の学生に登壇いただきました。

日頃から男女共同参画やジェンダー問題をテーマに活動している団体の取組等を紹介いただき、また櫻井さんとの意見交換を通し、課題の共有を図る場となりました。これを機に大学間の交流を深め、更なる活動の輪が広がることを願っております。



岩手大学  
男女共同参画推進学生  
委員会 GESCO

岩手県立大学  
学生団体 Marble

### 指定管理者 NPO 法人 参画プランニング・いわて 理事長交代のお知らせ

5月28日付けで当団体の理事長は、平賀圭子から植田眞弘に交代いたしました。前理事長の平賀圭子より一言ご挨拶を申し上げます。

この度のNPO法人 参画プランニング・いわての総会で、理事長の交代が決められました。



15年の長きにわたり大変お世話になりました。これからは一理事として活動を支援する側に回ります。世界からは日本の女性の地位の低さがしばしば問題にされています。どのようにしたら誰もが生きやすい地域を作っていくことができるか、課題は山積みです。力を合わせて、学び、活動し続けていきましょう。これからもよろしくお願いいたします。

前理事長 平賀 圭子

### ご希望の方に生理用品を 無料配布しています!

現在、社会問題となっている「生理の貧困」。生理の貧困とは、経済的な理由で生理用品を入手することが困難な状態にあることをいいます。盛岡市は、新型コロナウイルスの影響などにより困難を抱えている方へ生理用品を無料で配布しています。もりおか女性センターでお受け取りいただけます。

### つながりサポート女性相談+(プラス)のご案内

盛岡市では、新型コロナウイルスの感染拡大によりさまざまな困難や不安を抱える女性に対して、相談時間を拡大(夜間・土日)して相談体制の充実を図るとともに、生理用品の無料配布や相談窓口の周知を強化する事業を行っています。

開設期間:8月1日～令和4年2月28日  
専用電話番号:080-2833-1411

#### 【相談開設時間】

月・火・金 17:00～20:00  
(第2火曜日(9月のみ第1火曜日)・年末年始・祝日は休み)  
土・日 10:00～16:00

☆ 上記の時間以外に、もりおか女性センターではこれまで通り、女性相談を開設していますのでご利用ください。